

No. 473
2010年
12月

OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒113 0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 3階
電話(03)3815-3351 代 Fax(03)3815-3352
http://www.orsj.or.jp/

●平成 23～24 年度 役員・代議員候補者推薦のお願い

定款に従って平成 23, 24 両年度の役員を選出を行います。スケジュールは次の通りです。

- 平成 23 年 1 月 31 日 (必着) 候補者推薦締切。
- 2 月 21 日～3 月 4 日 会員の書面による投票。
- 3 月 8 日～11 日 開票 (予定)。
- 来年度総会において決定の予定。

については、以下により候補者の推薦をお願いいたします。

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 監事 紀 一誠, 中川義之

役員候補者

- 1 役員 (理事・監事) 候補者については本人の同意を得たうえで、正会員または名誉会員 5 名以上が候補者の略歴をつけて、推薦する (下記の書式に従ってください)。
- 2 役員候補者は名誉会員または個人正会員でなければならない。
- 3 理事は会務の分担ごとに選挙するので、分担を明示すること。
今回選出する理事の会務分担および定数は次の通りとする。
副会長 2 名 庶務 1 名 研究普及 (研究) 1 名 編集 (機関誌) 1 名, 国際 1 名
支部理事 1 名 (支部所属者 1 名), 無任所 1 名 (支部所属者 1 名)
- 4 監事の改選数は 1 名。

..... 切 り 取 り 線

平成 年 月 日

役員候補者推薦届

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

平成 23～24 年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

- 副会長 庶務理事 研究普及理事 編集理事 国際理事 支部理事 無任所理事
監事として

_____ 氏を推薦いたします。

推薦者 (正会員または名誉会員 5 名以上)

(代表者) 氏名 _____ ㊞ (所属: _____)

_____ ㊞ _____ ㊞ _____ ㊞
 _____ ㊞ _____ ㊞ _____ ㊞

候補者略歴 (18 字×6 行以内)

上記の推薦に同意します。氏名 _____ ㊞ (所属: _____)

● 日本 OR 学会各賞の一部名称変更、新設のお知らせと候補ご推薦のお願い

本学会では、昨年まで、文献賞、文献賞奨励賞、実施賞、普及賞、事例研究賞、業績賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰してきました。先にお知らせしましたように、本年度からは、文献賞、文献賞奨励賞が研究賞、研究賞奨励賞に名称変更されると共に、論文賞が新設されました。つきましては、今年度の受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。なお、論文賞につきましては、本学会論文誌に掲載された論文のみが授賞対象になりますので、特に推薦は募りません。ご注意ください。各賞の推薦締切は以下の通りです。

1. 実施賞、普及賞、業績賞：平成 23 年 1 月 5 日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：平成 23 年 1 月 31 日
3. 学生論文賞：平成 23 年 3 月 31 日

推薦は原則として学会所定の様式に従ってください。様式は、ホームページ <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html> からダウンロードしてご利用ください。推薦に関する詳細につきましては同じく学会のホームページをご覧ください。なお、各賞の概要は次のとおりです。過去の受賞一覧は、<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award.html> に記載しています。

〔研究賞〕 昭和 43 年（1968 年）に創設された大西記念文献賞、及びそれを継承した文献賞を受け継ぎ、本年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、OR の発展に寄与する研究業績をあげていること。
授賞対象とする研究業績は過去 5 年以内のものとし、毎年 1 名程度を表彰する予定です。

〔研究賞奨励賞〕 若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。

3. 被推薦者は、原則として平成 23 年 1 月 1 日に満 35 歳以下であること。ただし、OR 研究歴が短い方などは、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去 3 年以内のものとし、毎年 3 名程度を表彰する予定です。

〔論文賞〕 本年度より設けられた新しい賞です。過去

1 年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの 1 編に贈られます。授賞論文の著者すべてを表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。

〔実施賞〕 OR の実施を強力に推進してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。毎年 1 件程度を表彰する予定です。

〔普及賞〕 OR の普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。毎年 1 件程度を表彰する予定です。

〔事例研究賞〕 本学会員の行ったすぐれた事例研究に対して贈られます。本学会員個人に限らず、本学会員を含むグループも対象になります。毎年 3 件程度を表彰する予定です。

〔業績賞〕 OR の研究・教育・実施等に関わる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として満 40 歳以上、満 60 歳以下の学会員であることが必要です。毎年 1 名程度を表彰する予定です。

〔学生論文賞〕 学生による OR に関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年 5 編程度を表彰する予定です。詳しい募集要項は、OR 誌 2 月号に掲載します。（表彰委員会）

● 第 65 回シンポジウム

日 程：平成 23 年 3 月 16 日（水）

場 所：電気通信大学

実行委員長：岡本吉央（東京工業大学）

テーマ：「パズルとゲームの計算理論」

● 平成 23 年春季研究発表会

日 程：平成 23 年 3 月 17 日（木）～18 日（金）

場 所：電気通信大学

（京王線「調布」駅下車北口より徒歩 5 分）

実行委員長：村松正和（電気通信大学）

特別テーマ：「楽しみの OR」

特別講演（参加費無料）：

- ・久寿良木 健（ソニー・コンピュータエンタテインメント 名誉会長）
- ・数土文夫（JFE ホールディングス 相談役）
- ・近藤賞受賞者

懇親会：平成 23 年 3 月 17 日（木）

アブストラクト受付期間：

平成 22 年 12 月 1 日(水)～平成 23 年 1 月 11 日(火)
 問合せ先: 2011 年春季研究発表会実行委員会
 E-mail: nc2011s@orsj.or.jp
 * 詳しくは, <http://www.orsj.or.jp/nc2011s/> をご覧下さい。

●平成 22 年度 OR サロンのご案内

「レクチャー・シリーズ: サービス・イノベーションと企業成長」

〔第 2 回〕

日 時: 12 月 6 日(月) 午後 6:00～8:50

場 所: ㈱構造計画研究所 本所新館

地下 1 階レクチャールーム

<http://www.kke.co.jp/corporate/profile/map/tokyo.html>

テーマと講師:

「ホームセンターのサービス・イノベーションー最適品揃えとシフト自動作成」

南山大学 鈴木敦夫氏

コーディネータ: ㈱フレームワークス 高井英造

〔第 3 回〕

日 時: 平成 23 年 1 月 17 日(月) 午後 6:00～8:50

場 所: スター研修センター神田 501 会議室

千代田区神田美土代町 3-2 神田アベビル

テーマと講師:

「超長寿社会におけるサステイナブル・コミュニティと医療サービス」

亀田信介氏

(医療法人鉄蕉会 亀田総合病院病院長)

コーディネータ: ㈱フレームワークス 高井英造

第 3 回サロン参加費:

賛助会員: 1 名のみ無料, 2 人目以降は 1,000 円

個人会員: 1,000 円

参加費は当日会場にてお支払い下さい。

非会員の方は, 入会手続後お申込み下さい。

* 詳しくは, <http://www.orsj.or.jp/whatisor/admission.html> をご参照下さい。

参加人数: 50 名程度で締切。ホームページ等でお伝えいたします。

申込み先:

㈱日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

E-mail: salon@orsj.or.jp

Tel. 03(3815)3351 Fax. 03(3815)3352

申込締切: 平成 23 年 1 月 10 日(月)

必要事項: ①OR サロンの開催日, ②お名前, ③所属組織・部署名, ④会員種別(個人正会員, 学生会員, 賛助会員) ⑤連絡先住所 ⑥TEL

●中部 OR サロンのご案内

中部支部主催で OR サロンのアンコール公演を実施いたします。

日 時: 平成 23 年 1 月 27 日(木) 午後 1:00～5:50

場 所: ウィンクあいち 15 階

愛知県立大学 サテライトキャンパス C

名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

Tel. 052-571-6131 <http://www.winc-aichi.jp/>

テーマと講師:

「顧客満足と成長率 1 位の秘密ー回転寿司「スシロー」のサービス・イノベーションー」

㈱ジェネックスパートナーズ 高橋勇人氏

「ホームセンターのサービス・イノベーションー最適品揃えとシフト自動作成ー」

南山大学 情報理工学部 鈴木敦夫教授

コーディネータ: ㈱フレームワークス 高井英造

中部 OR サロン参加費: 調整中

定 員: 50 名程度で締切。ホームページ等でお伝えいたします。

申込み先:

㈱日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

E-mail: salon@orsj.or.jp

Tel. 03(3815)3351 Fax. 03(3815)3352

申込締切: 平成 23 年 1 月 20 日(木)

必要事項:

①「中部 OR サロン」と記入, ②お名前, ③所属組織・部署名, ④会員種別(個人正会員, 学生会員, 賛助会員, 非会員) ⑤連絡先住所 ⑥TEL

●研究部会・グループ開催案内

〔待ち行列〕

・第 217 回

日 時: 12 月 18 日(土) 14:00～17:00

場 所: 東京工業大学 西 8 号館(W)809 号室

<http://www.orsj.or.jp/queue/contents/place.html>

テーマと講師:

(1)「Self-Optimization versus Overall-Optimization in Managing Processor-Sharing Queues」

Chia-Li Wang (National Dong Hwa University, Taiwan)

(2)[待ち行列モデルを用いたインタラクティブ通信における Media-specific FEC の有効性評価]

井家 敦 (神奈川工科大学)

(3)[Trade-offs in re-scheduled queueing processes. Application to air transportation]

Claus Gwiggner (Electronic Navigation Research Institute)

* 詳しくは <http://www.orsj.or.jp/queue/> をご覧ください。

問合せ先：京都大学 増山博之

E-mail: masuyama@sys.i.kyoto-u.ac.jp

● 会合案内

[第 304 回新宿 OR 研究会]

日 時：平成 23 年 1 月 18 日(火) 12:00~13:30

場 所：東天紅会議室 (新宿センタービル 53 F)

テーマ：「交通需要予測の発展的経緯と現状の課題」

講 師：毛利雄一氏

(財)計量計画研究所 社会基盤経済研究部部長

参加費：3,000 円

問合せ先：日本 OR 学会事務局

● 新年会開催案内

会員の皆様お誘いあわせてご参加下さい。皆様の参加をおまちしております。

日 時：平成 23 年 1 月 14 日(金) 18:00~20:00

場 所：アルカディア市ヶ谷

東京都千代田区九段北 4-2-25 Tel. 03(3261)9921

<http://www.arcadia-jp.org/>

会 費：6,000 円

申 込：12 月 17 日(金)までにメールにて事務局まで

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

主 催：日本オペレーションズ・リサーチ学会

● 平成 23 年度会費納入のお願い (事務局)

平成 23 年度の会費請求書をお送りいたしましたので、お早めにご送金くださるようお願いいたします。なお、22 年度以前の会費を未納の方は合わせてお支払いくくださるよう重ねてお願いいたします。

[預金口座振替ご利用の方へ]

平成 23 年度会費振替は平成 23 年 1 月 20 日(木)になります。振替金額の不足にないように、預金残高をご確認いただければ幸いです。

[預金口座振替ご希望の方へ]

預金口座振替をご希望の正会員の方は、学会事務局まで TEL, FAX, 郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。

学会事務局年末年始休業のお知らせ

平成 22 年 12 月 29 日(水)~平成 23 年 1 月 5 日(水)

[2011 年度 洋雑誌ご購入案内]

お申込みは当学会事務局へ（申込締切：12 月末日）

個人購入もできますが、当学会では、割引価格でお取り扱いしています。

EJOR (European Journal of Operational Research)

EJOR は、Association of European Operational Research Societies (EURO) と Elsevier 出版社との共同出版によるものです。

あらゆる分野における OR に関する優れた論文や書評を記載しています。

2011 年会員購読料 (Vol. 208~215) : 33,000 円 (送料込, 8 巻, 24 冊)

(一般購読料 : 753,500 円) (ELSEVIER 社)

IAOR (International Abstracts in Operations Research)

全世界の OR に関する文献の Abstracts 専門誌

IAOR は IFORS (International Federations of Operational Research Societies) が発行している世界の OR 関係の論文および単行本の英文アブストラクト誌です。約 2400 編のアブストラクトが収録されています。カバーされている雑誌は、主要なものだけでも 50 種を超えています。

内容は、モデル、実施例、理論の 3 つの部門にわかれ、その中がさらに細かく分類されています。著者索引および非常に便利な項目索引もあって文献を探すのにとっても便利です。

2011 年会員購読料 (Vol. 62) : 17,000 円 (送料込, 8 冊)

(一般購読料 : 991 ポンド) (palgrave 社)

APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research)

APJOR は、その Official Journal という性格から、APORS 加盟各国から Associate Editors への参加が求められており、日本 OR 学会からは、土肥正氏 (広島大学)、澤木勝茂氏 (南山大学) が参加されています。これからも同誌を一層もり立ててゆくため、論文の投稿・雑誌の購読についてご協力をお願いいたします。

2011 年会員購読料 (Vol. 28) : 10,000 円 (送料込, 6 冊)

(一般購読料 : 548 シンガポールドル + 送料/Electronic+Print) (World Scientific 社)